



学校教育目標（令和2年度より）

◎ 人を愛し、人に愛されながら、夢や目標をかなえるために

- 1) 考えを形成し、伝え合うなかで集団の考えを深化・発展させる能力を身につける【知】
- 2) 他者の考えや思いを受け止めて聴き、寄り添う態度を身につける【徳】
- 3) 安全で健康的な生活を営むために、基本的な生活習慣を身につける【体】
- 4) 決まりを理解し、集団のなかで、協働・協調する姿勢を身につける【公】
- 5) 自身の意思を決定し、意図的・計画的に表現する実践力を身につける【開】

文化発表会

文化発表会実行委員長 安藤 健吾

文化発表会実行委員長の開会宣言のもと今年度、4年振りに校外の県立音楽堂で合唱コンクールが実施されました。夏休み前から当日まで実行委員が計画を立て、そしてクラスでは曲決めから話し合いを重ね、夏休み明けの練習に一生懸命取り組む姿が見られました。そして当日、吹奏楽部の素晴らしい音色とともに文化発表会が始まったという実感が湧いてきました。各クラスの合唱が1年生からスタートし、緊張しながらも、真剣な表情で取り組んでいました。指揮者を一点に見つめ練習の成果を大勢の前で発揮しようとする姿から、クラス全体で一つのことを成し遂げよう、力を合わせて素晴らしい合唱にしようという気持ちがあふれているように感じました。

各学年の合唱が終わり、1日目の最後のプログラムとして、合唱部の発表では、聴いていた大勢の人たちが、合唱部の声に魅了され、合唱の素晴らしさを再確認したことと思います。

今年の文化発表会はどうでしたか？最高！と思えた人も、もうちょっとできたかもといろいろな思いはあると思います。各クラスの合唱や、文化部での発表に向かって努力したり、協力したりすることで、たくさんの絆も生まれたのではないのでしょうか。そして見ている人たちはそんな発表を見て楽しめたのではないかと思います。1, 2年生は今回の経験を生かし、来年度につなげていってください。3年生は最後の文化発表会が良い思い出になっていたらうれしいです。色々な支えもあり、この文化発表会を開催し、一人ひとりが最高に輝けることができました。ありがとうございました。

文化発表会 終わりの言葉：文化発表会実行委員長 3年6組 森 悠人

2日目は、演劇部の『今日は塾に行くふりをして』の上演から、美術部の部員たちによる、映像作品集。そして英語弁論大会、国際平和スピーチでした。演劇部のメリハリある演技と、美術部員たちの個性豊かな作品で場が和みました。スピーチでは日頃の学習の成果を発揮するほど、周りは聞き入る様子でした。体育館入口には家庭科部の個性あふれる、趣向を凝らした作品の数々が展示されていました。ご覧いただけましたか。

学校行事を通して、これからの学校生活をどう過ごしていくか、クラスのそして所属している団体の中で、自分自身の役割を明確にして成長していったほしいと願っています。

大切なのはこれからの生活です。ぜひ文化発表会を通して、自分たちが得たものを糧にしてこれからの学校生活に大いに反映させて、活躍していったほしいです。

「服の力 プロジェクト」

ファーストリテイリング社がUNHCR(国連難民高等弁務官事務所)とともに取り組む小・中・高校生を対象とした参加型学習プログラムとして行いました。

学区内三小学校(東希望が丘小、中尾小、笹野台小)や地域の方にもご協力をいただき実施しました。今回は「160cm以下の子ども服」という限定でしたが、たくさんの方から、様々な種類の洋服が集まりました。後日、生徒が仕分け後、難民の方など服を必要とする人たちに届けられます。

当日は、活動の様子をケーブルテレビが取材に来るなど、今年度から始めた活動ですが、徐々に地域に浸透していくことと思います。ご協力をいただいた皆様、ありがとうございました。

JOC「オリンピック教室」

9月28日(木)、29日(金)に2年生を対象としてJOCによる「オリンピック教室」が開催されました。4名のオリンピック選手の方を講師としてお迎えして実施されました。さすがに世界を舞台に活躍したトップアスリートの方々は、引退したとはいえ、様々な経験に裏打ちされた魅力あふれるものでした。

1時間目は体育館で体を動かし、2時間目は教室で、映像を見ながらお話しをうかがいました。参加された講師の方を紹介します。

三好智弘先生(競泳)

中学の時に会った体育の先生の言葉「みんなよりも少し努力する(+1の法則)」を実践され、自分の夢の実現につながったというお話がありました。

体育館では一つのフラフープを全員で人差し指で支え、バランスを取る活動、手をつないだ状態で風船をリフティングして運ぶ活動を行いました。

蛭沢大輔先生(バイアスロン)

「努力は裏切らない」という現役時代のご自身の座右の銘であり、この努力が今の自分につながっているというお話がありました。

体育館では、対戦相手とじゃんけんを行い、勝った人だけが次のエリアに進み、ゴールである担任の先生を目指す活動をしました。

佐藤真太郎先生(ボブスレー)

夢を叶えるためには、「同じ時間をどのように過ごすか、学び続ける姿勢が大切」と課題を解決するために、常に考える習慣を身に付けようというお話がありました。

体育館では、ジャンプやステップを用いたり走ったり基本技能についての活動や新聞紙を小さく折り畳んで走る活動を行いました。

澤野大地先生(棒高跳び)

中学校1年の時に「棒高跳び」と出会い、夢が目標へと変わった。オリンピック3大会に出場した経験やロンドンオリンピックの出場を逃した際に感じた仲間という存在の尊さ、次のリオオリンピック出場を決めるまでの軌跡と恩師の言葉など、やっていることは、みんなと同じであるといったお話をされました。

大変貴重な体験ができました。詳しいことは、「JOC」のHPでも紹介しています。ぜひ、ご覧になってください。

令和5年度 児童・生徒交流日

希望が丘中学校区の小学校6年生に対して、中学校の理解や生徒会活動、部活動などの様子を中学校に訪問することで、自分の目で確かめて中学校へ対する理解を深める目的で実施しました。10月25日(水)当日は、天候にも恵まれ、予定通り実施することができました。

まずは「中学校の授業参観」を行いました。全学年の授業を参観し、同じ小学校の先輩たちの成長に驚いている様子も見られました。国語などでは、小学校で学習した「平家物語」の冒頭部分を中学校の古典学習の導入としてさらに内容を深めて学習する姿に小・中の繋がりも実感できたのではないのでしょうか。

次に「体育館で全体説明会」を行いました。生徒会の本部役員が中心となって、映像などを駆使して説明しました。この生徒会の活動に感激し、中学校では生徒会本部役員に立候補しようと決めて、入学したという話も聞いています。また、「部活動紹介」も行いました。2年生を中心に、趣向を凝らし、素晴らしい実技の発表や笑いもある紹介に和やかな雰囲気でした。

最後は「模擬体験授業」です。30分という短い時間でしたが、各教科の先生方の個性あふれる授業にどの教室も熱意と笑いのあふれる授業となったようです。

〈スクールカウンセラーの11月・12月の予定〉

11月8日(水)・15日(水)・22日(水)・29日(水)
12月6日(水)・13日(水)・20日(水)

カウンセラー専用直通電話(トールム直通)
電話045(391)3703